



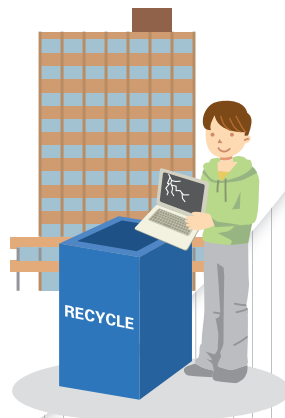
新スリムシティ さっぽろ計画

札幌市一般廃棄物処理基本計画



SAPPORO いちばん！ 減らそう 100g

～ごみのいちばん少ないまちへ みんなで3R～



2018年(平成30年)3月

札幌市

目 次

計画策定にあたって	1
-----------	---

第1編 総論	3
--------	---

第1章 計画の策定	4
-----------	---

1 計画の策定の背景	4
2 計画期間	7
3 計画の位置付け	7
4 計画の構成	9
5 計画の進行管理	10

第2編 ごみ処理部門	11
------------	----

第1章 札幌市のごみ処理の区分と体制	12
--------------------	----

1 廃棄物の区分	12
1-1 家庭ごみと事業ごみ	12
1-2 札幌市が処理する廃棄ごみと資源物の区分	12
2 家庭ごみ	13
2-1 家庭ごみの分別区分	13
2-2 集団資源回収と拠点回収	15
2-3 家庭ごみの処理体制	16
3 事業所から出るごみ	17
4 ごみ処理手数料	20
4-1 家庭ごみ処理手数料	20
4-2 事業ごみ処分手数料	20
5 ごみ処理施設・環境教育施設等	21
5-1 清掃工場及び破碎工場	21
5-2 埋立地	21
5-3 資源化施設	22
5-4 リサイクルプラザ・リユースプラザ・環境プラザ	24
5-5 地区リサイクルセンター	25

第2章 スリムシティさっぽろ計画（前計画）の総括 27

- 1 前計画の概要 27
- 2 前計画の成果 30
- 3 前計画の目標達成状況 32

第3章 札幌市の現状と課題 36

- 1 ごみ排出量等 36
 - 1-1 ごみ排出量 36
 - 1-2 家庭ごみの組成 38
 - 1-3 家庭ごみの分別協力率 39
 - 1-4 ごみ処理コスト 40
- 2 札幌市のごみ処理の課題 41
 - 2-1 2Rを優先した3Rの促進 41
 - 2-2 事業ごみの減量とリサイクル 42
 - 2-3 超高齢社会への対応 43
 - 2-4 市民・事業者・行政の協働 44
 - 2-5 大規模災害に備えた廃棄物処理体制 44

第4章 基本計画の目標と施策体系 45

- 1 基本目標 45
- 2 基本方針 47
- 3 「目指せいちばん！スリム目標」・「モニター指標」 48
 - 3-1 設定の考え方 48
 - 3-2 目指せいちばん！スリム目標 49
 - 3-3 モニター指標 53
- 4 目標実現に向けた施策 58
- 基本計画の体系図 60

第5章 基本目標の達成に向けた具体的な施策 61

- 1 2Rを推進するためのしくみづくり 61
 - 1-1 ごみ発生・排出抑制のための行動の実践 61
 - 1-2 生ごみ減量の促進に向けた取組 62
 - 1-3 リユース機会の提供 63
 - 1-4 国や製造・販売業界への働きかけ 64
- 2 分別・リサイクルの取組促進 65
 - 2-1 分別・排出ルール of 周知・徹底 65
 - 2-2 資源回収の促進に向けた取組 65

2-3	生ごみ資源化の促進に向けた支援	69
3	事業ごみの減量・リサイクルの取組促進	70
3-1	事業者による自主的な取組の促進	70
3-2	適正排出指導の徹底	71
3-3	市による率先したごみ減量・リサイクル行動	71
4	市民に対する支援と普及啓発	72
4-1	ごみステーション問題の改善	72
4-2	高齢者等への対応	73
4-3	具体的な行動につなげる普及啓発の実施	75
4-4	ごみについて関心を高める環境教育の充実	75
5	持続可能な収集・処理体制の確立	77
5-1	資源循環処理体制の確立	77
5-2	埋立地の容量確保	78
5-3	未利用資源の活用検討	78
5-4	収集・処理における環境への配慮	79
5-5	不法投棄対策の強化	80
6	清掃事業の最適化と安全・安心な体制の構築	81
6-1	収集・処理業務の最適化	81
6-2	ごみ処理手数料制度の効果的な運用	81
6-3	大規模災害に備えた取組	81
6-4	広域処理の検討	82

第3編 生活排水処理部門 83

1	生活排水対策について	84
2	札幌市の生活排水処理の現状	85
3	前計画の総括	86
4	基本方針と施策	86
4-1	下水道と合併処理浄化槽の役割分担の考え方	86
4-2	生活排水処理に係る施策	86
5	生活排水処理計画	87
5-1	生活排水の処理計画	87
5-2	し尿・浄化槽汚泥等の処理計画	87
5-3	合併処理浄化槽設置の普及啓発	88

資料編 89

札幌市廃棄物減量等推進審議会.....	90
1 委員名簿	90
2 諮問及び答申の概要	91
用語解説.....	94

凡 例

数値の単位未満、平均値、指数などの算出方法は四捨五入を原則としたため、合計数値とその内訳の計とが一致しない場合があります。

計画策定にあたって

私たちが日常生活で消費する食品や製品には、地球が長い時間をかけて作り上げた貴重な資源やエネルギーが多く費やされています。

また、これらは最終的にごみとして処理するため、多くのエネルギーを消費するとともに温室効果ガスを発生させます。

つまり、私たちがものを使うことにより、地球環境に少なからず負荷を与えていることとなります。

近年になり、世界各地で異常気象による洪水や干ばつが頻発しているほか、森林伐採による砂漠化の進行や、氷河や極地の氷が溶け出すことによる海水面の上昇など、既に多くの環境問題が顕在化しています。

私たちがものを大切にし、できるだけごみを出さない生活を送るという身近な行動は、身近な生活環境だけでなく、こうした地球環境問題の解決にもつながっていきます。

これまでも私たちは前計画に基づきごみの減量・リサイクルに関わる多くの取組を進めてきました。その結果、市民や事業者の高い環境意識により、大幅なごみの減量が達成され、4か所あった清掃工場の1つを削減するという、大きな成果をあげることができました。

札幌市一般廃棄物処理基本計画「新スリムシティさっぽろ計画」は、今後10年間の札幌市や社会の情勢を見据え、ごみの減量・リサイクルと適正処理に関する方向性を定める計画です。

本計画は、環境首都・札幌を宣言した都市として、これまで築きあげてきた市民・事業者・行政の協働、関係団体との連携によるごみの減量・リサイクルの取組を一層推進して「ごみのいちばん少ないまち」を目指し、地球環境に貢献することを計画の理念とします。

2018年（平成30年）3月

札幌市